

【解説】

挨拶は、いつ、誰に、どのように、どのくらいが、状況によって変わり、自閉症の人にとって曖昧でわかり難いものです。また自閉症の人は、情報処理の困難さがあります。複数の情報を処理したり、必要な情報だけに注目することが得意ではありません。自閉症の人にとって、学校や会社の朝の挨拶の渦は、大きなハードルになることがあります。

【関連の特性】

受容コミュニケーション
関係理解の困難さ

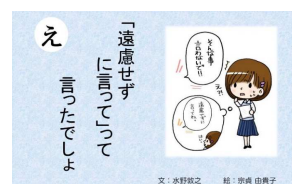
※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、字義通りの解釈をする特性があります。相手の言葉の裏の意味を読み取ったり、社交辞令などの言葉をそのまま解釈したりすることがあります。

様々な場面で、字義通りの解釈をすることを念頭においた情報提供が重要です。また、比喩や慣用句、抽象的な表現ではなく、本人にとって具体的に理解できるような表現での情報提供が大切です。

【関連の特性】

受容コミュニケーション
関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

「きれいに」という指示・基準は、自閉症の人にとって抽象的でわかりにくいものです。曖昧でイメージできない指示よりも、「手のひら10回」や「2分間洗って」のように、回数など、イメージできる内容で伝えることが重要になります。

【関連の特性】

受容コミュニケーション
関係の理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人の正直さがよくでたカルタです。作戦を立ててたり、かけ引きをするのは得意ではありません。

自分の頭のイメージ、相手の頭のイメージが違ってあることをしたり、整理したりすることも苦手です。

「見ると強く注目し衝動的に置いてしまおう」という特性も影響している場合があります。

【関連の特性】

・社会性・対人関係の困難さ
・注意・注目の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



無視できるように、例えば学習の時に見える範囲には掲示物をはらないとか、掲示物はそろえて貼るなどの工夫が必要です。

- ・注意・注目の特性(無視できない)
- ・変更の対応の困難さ(整然としたものを保持しようとする)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています（114～117頁）。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています（138～145頁）。

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



職場の中には時間ピッタリに休憩にはいらない事業所があります。しばらく後片付けなどして、なんとなく雰囲気ですぐに休憩に入るのです。しかし、周囲には「自分だけ休憩に入ってる」「さぼってる」「態度がわるい」となるのです。

そのなんとなくの雰囲気は自閉症の人には難しいのです。

・社会性・対人関係の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1「フレームワーク」を活用した自閉症支援」に掲載されています（114～117頁）。
※また、パート2「生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック」では新しいバージョンが掲載されています（138～145頁）。

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】
自閉症の人は、相手の気持ちを想像することが得意ではありません。これは様々な状況を判断して相手の気持ちを想像することの困難さです。そこで「空気をよめない」特性とも言われます。

このカルタは、「空気」を読むということの解釈を字義通りの解釈しています。「【空気】という単語を読むに
ことができるか？」という解釈になっています。

社会性・対人関係の困難さ
関係の理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワーク』を活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザイン』での個別支援計画ガイドブックでは新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



繰り返しや、1つの状態を保持しようとする特性がみられます。

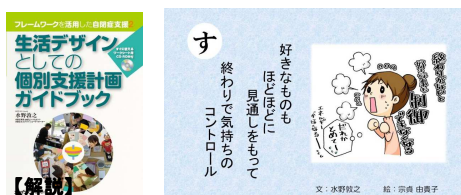
しかし、自閉症の人の特性は弱みと強みが紙一重です。「こだわり」というと弱みに聞こえますが、「1つに集中できる」というと強みになります。「1つの集中できる」を探すことは、教育・支援の上で重要です。

- ・変更の対応の困難さ
- ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
 ※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています（114～117頁）。
 ※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています（138～145頁）。

監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】
自閉症の人は、見通しがない活動は得意ではありません。様々な活動が明確な終わり、見通しがあることが重要です！それは、好きな活動も例外ではなく、終わりが明確でないと見通しが持てなくて混乱したり、気持ちが高ぶり過ぎてコントロールできなくなったりすることがあります。

好きな活動どうも、終わり、見通しが明確であることが必要です

【関連の特性】

- ・注意・注目の特性(無視できない)
- ・変更の対応の困難さ(整然としたものを保持しようとする)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

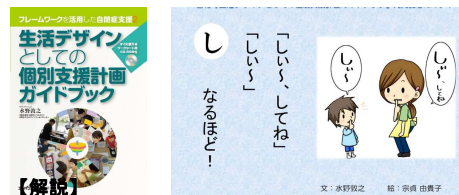
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマーシャルやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。

このエピソードは、即時性反響言語になります。特性は表出コミュニケーションの特性ですが、相手の言葉を理解しないで繰り返していますので、受容コミュニケーションの特性としても考えられます。

【関連の特性】

- ・表出コミュニケーション
- ・受容コミュニケーション
- ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

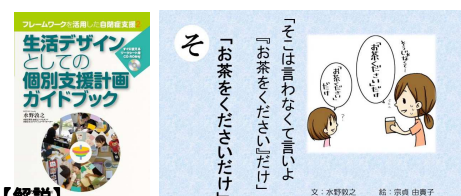
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマーシャルやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。このエピソードは、即時性反響言語になります。

このエピソードでは、言ってほしい言葉とその他の言葉の境界のイメージが難しいです。

模倣しなくてはいけない言葉と、模倣しなくて良い言葉の区別が難しく、かたまりで理解しています。

【関連の特性】

- ・表出コミュニケーション
- ・受容コミュニケーション
- ・注意・注目の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、1つのことに集中すると私たちが想像を絶する量と制度を上げることがあります。しかし、時にそのまじめさが周囲から注意を受けることがあります。「手をめくことができずに時間がかかりすぎる」「ほどほどの理解が難しい」「力が入りすぎる」などです。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーション
- ・関係理解の困難さ
- ・微細・粗大運動の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

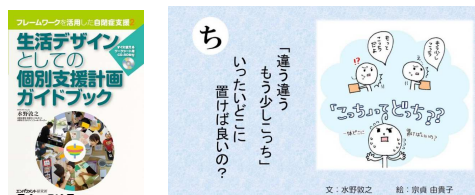
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、曖昧で抽象的な指示の理解が困難です。具体的で明確な指示の方が自立的に自信をもって活動することができます。例えば、「そのあたりに貼って」よりも、印や見本を観て指示した方が具体的です。

また、自閉症の人は周囲の状況を把握して物や道具・自分の位置を決めるのが得意ではありません。空間を整理し物や道具、自分の位置をイメージし決めていくことが得意ではないのです。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーション(曖昧な表現が得意ではない)
- ・空間の整理統合の困難さ(物、道具、自分の位置を決めることの困難さ)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

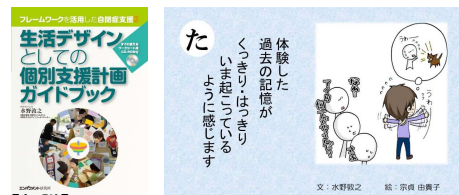
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、一度経験したことを記憶を鮮明にまるで写真や録画のように記憶されると言われています。様々な記憶、細部まで覚えているような人もいて、周囲がビックリする能力を見ることがあります。

また、一度経験した嫌な記憶を消すことができずにフラッシュバックを起こされるケースもあります。

失敗した内容を繰り返すようなこともあります。成功体験を重視してアプローチも重要です。修正して学ぶことや、手探り(試行錯誤)の幅は個別化する必要があります。

【関連の特性】

- ・長期記憶の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

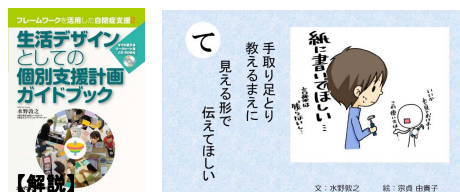
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、複雑でわかりにくい情報では混乱することがあります。『手取り足取り』たくさん関わりの中で教えることは、情報が複雑で、何に注目していいかわからなくなります。また、言語指示は不安定で部分しか残らなかったり、指示全体を整理することが困難な場合があります。

適切で最小限の手がかり(言語指示、ジェスチャー、モデル、手添えなど)で教えることが大切です。必要によつては、自閉症の人が注目しやすく、整理しやすい視覚的な情報で伝えることが重要になります。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーションの特性
- ・注意注目の特性(複数の処理の困難さ)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

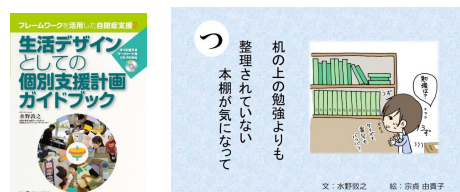
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は活動とは関係の無い刺激を無視することが困難です。そのことで教室の中で勉強や活動に集中できなく、その時間に関係のない部分に注目してしまうことがあります。

また、自閉症の人は、規則正しいこと、整っていることを好みます。一人ひとり内容は変わりますが、いつも同じで、整っていることが好きです

【関連の特性】

- ・注意・注目の特性(無視ができない)
- ・変化の対応の困難さ(規則正しい状態の保持)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

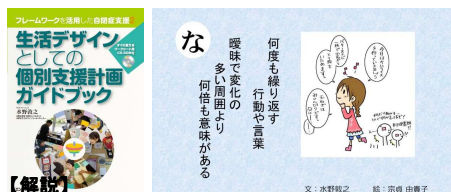
監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック

生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック発売記念自閉症特性カルタvol.1-1(解説カード)

文:水野敦之 絵:宗貞由貴子



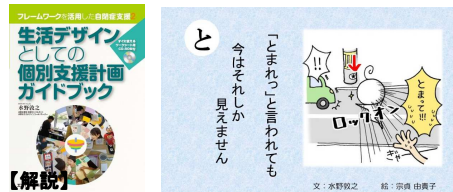
【解説】
自閉症の人の中には、反響言語がある方がいます。反響言語は、以前聞いたコマーシャルやニュースなどを繰り返す遅延反響言語と、その場で言われたことを繰り返す即時性反響言語があります。このエピソードは、遅延反響言語のエピソードになります。
自由時間や曖昧な時間に見られる人もあります。曖昧な時間、わからない時間を、自分の好きなフレーズを繰り返すことで、わかりやすい時間としています。また、自分の気持ちのコントロールとして使う人もいます。

- 【関連の特性】
- ・表出コミュニケーション
 - ・時間の整理統合(曖昧な時間が得意ではない)
 - ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



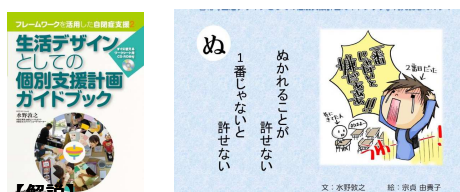
【解説】
このようなヒヤとする場面は多くの親御さん、支援者が経験されています。1つの部分に注目すると、周囲に気をとめることが難しい場合があります。
自閉症の人は、全体よりも細部を強く注目することで、刺激・情報に強く反応して、引っ張られてしまうことがあります。活動以外の刺激が無視できるように刺激・情報を統制したり、現在の活動を明確に提示したりすることもあります。
街の中で刺激を統制することに限界がありますが、事前にルートを考えたり、行く場所を選んだりすることが大切です。

- 【関連の特性】
- ・注意、注目の特性(転動的な行動)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



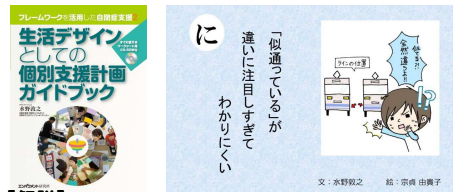
【解説】
自閉症の人の中には、1番にこだわったり、勝ち負けにこだわったりすることがあります。自分のイメージ通りにならないと混乱する人もいます。
自分の中で、“競争＝一番にならないといけない”とイメージしてますので柔軟な思考、関係理解の特性と言えます。
自分のイメージを変えることに抵抗をします、ので、「変化の困難さ」とも言えます。

- 【関連の特性】
- ・関係理解の困難さ(自分流のイメージをつくる)
 - ・変化の対応の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



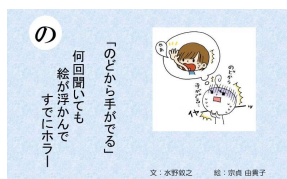
【解説】
自閉症の人は、同じであることを好み、小さな違いに注目することがあります。違いに気づき、注目しすぎることで、「少しばかり違ってても似通っている」「ほぼ同じ」の理解が困難になります。
生活の場面では、おもちゃの違いや、カレーなどの味などに気づきすぎて混乱されることがあります。
小さい時からの「似通っている」「部分が違う」の勉強も重要になります。

- 【関連の特性】
- ・変化の対応の困難さ
 - ・一般化の困難さ
 - ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人の特性として、字義通りの解釈があります。比喻や慣用句も、その字義通りとしてしまいます。今回の内容はフィクションですが、自閉症の方の中には「絵が浮かぶ」と言われた人もいます。

字義通り解釈することは、情報提供的に意識して、本人がこちらのイメージを絵で描けるように伝えることが重要です。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーションの特性
- ・関係理解の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人の中には、1つのことが気になって、やる必要がある行動、優先する必要がある事柄などに注目できない場合があります。夜寝れない、仕事や勉強に注意できない、食事ができない、お風呂が入れない、様々な行動に影響を与えます。

【関連の特性】

- ・注意・注目の特性(全体を意識した上での判断の困難さ)
- ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人にとって自由時間、余暇は曖昧でわかりにくいものです。何をやっていいのかわかり、終わりはいつなのか、見通しが時間です。

余暇も具体的にわかりやすい状況(例えば、やり方、終わりなどの見通しを視覚的に伝える)を設定し、教えることが大切です。

余暇は自然なもの、余暇は自由なもの、という発想ではなかなか余暇の広がりをサポートできないと考えます。

【関連の特性】

- ・時間の整理統合の困難さ
- ・関係理解の困難さ

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は曖昧な度合いなどの理解が難しいことがあります。仕事のスピード、効率、完成度合い、など全体を意識して調整するとはいけないことが得意ではありません。

視覚的なグラフなどを活用しながら、度合いの事例を確認していく支援(指導)もあります。

【関連の特性】

- ・時間の整理統合(丁寧さとスピードの調整)
- ・受容コミュニケーション(曖昧な情報の理解が困難さ)
- ・関係理解の困難さ(抽象的な情報の意味の理解の困難さ)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

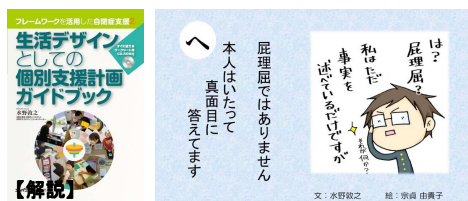
監修・文 水野敦之

絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック

生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック発売記念自閉症特性カルタvol.1-1(解説カード)

文:水野敦之 絵:宗貞由貴子



【解説】

自閉症の特性の1つに関係理解の特性があります。様々な意味の捉え方が柔軟でなかったり、自己流になります。そのことが周囲には尻理屈のような聞こえることもあります。

字義通りの解釈、教科書通りの解釈、関係の無い理論の応用な流の理解の仕方があり、いたって真面目に考えていることも知っておくといいですね。自閉症の人の中には、学者ぶったど、彼ら言い方をされる人もいます。

【関連の特性】

- ・関係理解の特性
- ・表出コミュニケーション(学者ぶった話し方、理屈っぽい話し方)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

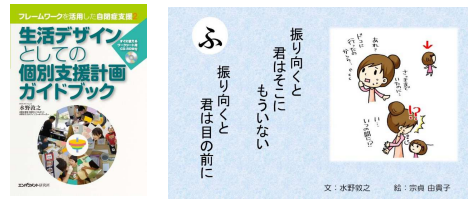
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症児・者が見せる転導的な行動を表現しました。1つの情報・刺激に注目し引っ張られることがあります。

1つの部分に注目すると、周囲に気をとめることが難しい場合があります。

お母さんがちよつと他を覗て振り向いた瞬間にいないなっていることもあります。そこで探して、ふと振り向くと、かなり近い距離に顔を近寄せきてビックリするエピソードもあります。

【関連の特性】

- ・注意注目の特性(転導的な行動)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

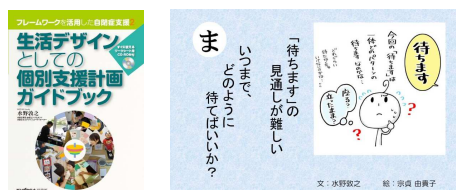
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は曖昧な指示の理解が得意ではありません。待ちますも、いつまで、どのように待てばいいかイメージすることが難しいのです。

本人の視点で、具体的なイメージができる内容を見通しを含めて伝えることが大切です。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーションの特性
- ・時間の整理統合(見通しを持つことが難しい)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

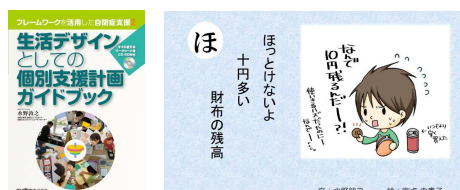
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、変化の対応の困難さがあります。あるべきことが無いことは混乱します。財布にあるはずのお金が足りなかったり、多かたりしたときにも混乱されたケースがありました。

普段からの変更を伝える方法を持つことと、時には想定しないことがおこることも視覚的な情報と事例をつかったイメージトレーニングが必要になります。

【関連の特性】

- ・変化への対応の困難さ
- ・注意・注目の特性(様々な柔軟な視点になることが難しい)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

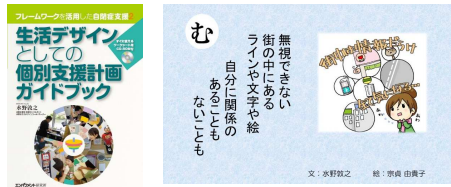
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



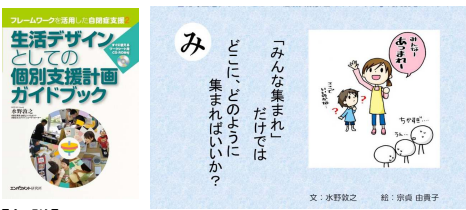
【解説】
地域の中にはたくさんの視覚的な情報があります。その中には、自分にとって関係のあることもあれば、関係の無いこともあります。自閉症の人は、様々な刺激、情報に影響をうけます。そして重要な視点は無視することが困難です。必要な情報に注目し、そして必要でない情報を無視して行動が難しいのです。
また、自閉症の人は視覚的なものに引っ張られることもあります。

【関連の特性】
・注意注目の特性
・感覚の特異性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



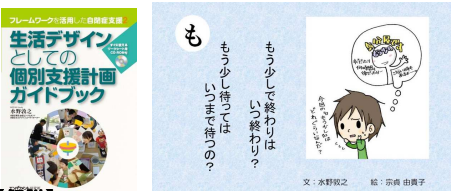
【解説】
曖昧でわかりにくい指示を理解することが得意ではありません。周囲の状況を把握して行動することも得意ではありません。「みんな集まれ」だけでは、どこにどのように集まればいいかわかりません。
周囲の状況を把握して(空気を察して)、自分の位置を考えたり、集団で行動することも得意ではありません。

【関連の特性】
・空間整理統合の困難さ
・社会性・対人関係の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】
自閉症の人は見通しを持つことが困難です。いつ終わるか、いつまで待たばいいのかが明確ではないと、見通しが持たなくて不安や混乱を感じられる方がいます。

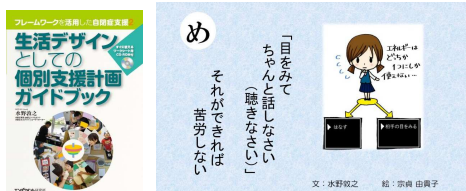
また、もう少しのような抽象的な表現では、その幅を理解することが理解できないことがあります。

【関連の特性】
・受容コミュニケーションの特性
・時間整理統合の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



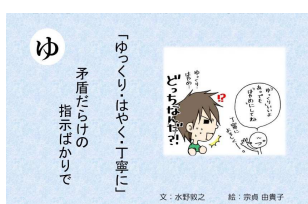
【解説】
自閉症の人の特徴としてアイコンタクトに特徴があります。アイコンタクトが少ない人、逆に凝視したり、パターンのだったりする人がいます。
自閉症人は、同時に複数のことをすることが得意ではありません。人の話を聞いたり、コメントしながら、同時にアイコンタクトに気を配ることが得意ではありません。
実際に「目を見ると、聞いたり、話したり、考えたりすることができない」と言われるケースもあります。

【関連の特性】
・社会性・対人関係の特性
・注意注目の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ
監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

職場では、様々なことが期待されます。スピードや丁寧さ、精巧さなどです。自閉症の人は曖昧で抽象的なことが得意ではありません。「丁度良いあんばい」というのは、本当に曖昧なことです。

そんな中で職場等で「もっとゆっくり、はやく、丁寧に」のように矛盾する言葉が飛び交います。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーションの特性
- ・時間整理統合の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

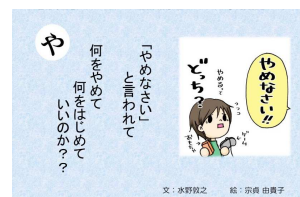
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人にとって「ダメ」「やめなさい」はイメージすることが難しいことがあります。「ダメ」「やめなさい」が何をやめるのか、その後何をすればいいのかが難しいのです。

本人に理解しやすい形で「やめる」「終わる」を伝えることあわせて、YES、つまり「これやっていいよ」又は「次は〇〇」を伝えることが大切です。

禁止の指導は、「終わり」「やめる」という意味から、「ダメ」という意味も教えていきます。

【関連の特性】

- ・注意・注目の特性
- ・時間整理統合の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

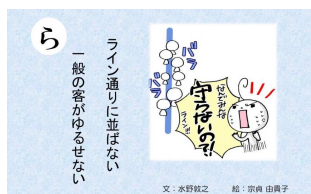
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、視覚的なことに強く注目します。視覚的な情報を無視することができない強く引っ張られることでもあります。たとえば関係の無いライン(線)にそって忠実に歩く自閉症の人も見ることがあります。

それに対して、街に視覚的な合図を無視している(定型発達の人)をみます。さて、どう思われますか？

【関連の特性】

- ・注意・注目の特性(無視できない)
- ・関係理解の特性(忠実に線にしたがう)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、字義通りに解釈をする特性があります。

その字義通り解釈する特性を意識して情報を提示すること重要です。

支援者は、本人の気持ちを配慮して言ってるんですが、本人にとっては「嘘つき」になってしまいます。

良く言うのは「チクッ(チカッ)と痛い」ですかね。その他、終わりを明確にすることも重要です。すべて個別です。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーションの特性
- ・関係理解の特性

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

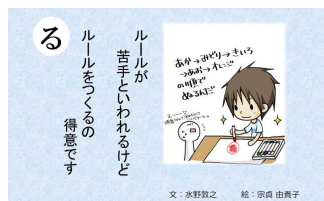
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114～117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138～145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、ルールを理解するのが得意ではありません。ルールとは規則というよりも、社会的な状況で生じるルールです。遊びの中のルール、ゲームのルール、社会的な暗黙のルールが得意ではありません。しかし、自分でルールを作りだしたり、自己流の判断をされるケースがあります。

【関連の特性】

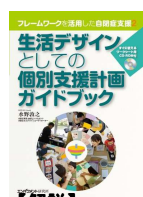
- ・社会性・対人関係の特性(暗黙のルールの理解の困難さ)
- ・関係理解の特性(自己流の判断)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114~117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138~145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、状況判断して予定したことを変更したり、調整したりすることが得意ではありません。その様子は、ほんとうに「リズム」「まじめ」な特性に感じます。しかし、反面、柔軟さがなく、変更ができないなどの特性とも言えます。

自閉症の人の特性は「強み」と「苦手さ」が紙一重なことが多いように思います。

【関連の特性】

- ・変化への対応の困難さ
- ・時間整理統合の困難さ(日時の調整の困難さ)
- ・空間整理統合の困難さ(自分や物の位置の調整の困難さ)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114~117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138~145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

自閉症の人は、視覚的なものに忠実さを持ちます。また決められた通りを守り、それを保持しようとする人がいます。

周囲の人は、時に間違った行動をとります。状況によっては、なんとなく無視している人が多い中で、気になって無視できない自閉症の人もあります。

よく自閉症の人はルールの理解が難しいと言います。しかし、自閉症の仲間から、よく「なんで定型発達の人にはルールを守らないの?」と言われる。

【関連の特性】

- ・注意注目の特性(無視することが難しい)
- ・社会性・対人関係の特性(社会的な状況が理解が難しい。相手の視点になるのが難しい)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114~117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138~145頁)。

自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



【解説】

練習での繰り返し覚えたことをそのまま覚えて、本番でも繰り返した自閉症の人のエピソードを聞きます。しかも、教えた人の「もう一回やってみよう」も添えてつことも。本人の経験のさせ方に気を配ることが重要です。

自閉症の人は、長期記憶の強さを持っています。また繰り返したことを強く学びます。本番に念頭を置いた練習の視点必要ですね?

【関連の特性】

- ・長期記憶の特性(経験したことを繰り返す)
- ・表出コミュニケーション(遅延反響言語)

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークワークを活用した自閉症支援』に掲載されています(114~117頁)。
※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138~145頁)。

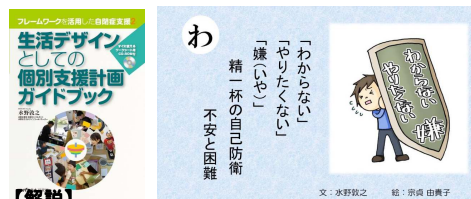
自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



今回は巻頭4ページが
カラーページになりました！



【解説】

自閉症の人は、情報理解の困難さや感覚の特異性、複雑な状況の把握の難しさ、見通しの難しさなどにより、混乱したりすることがあります。その時に「わからない」「やりたくない」「嫌」などの表現をされます。自閉症の人によっては、違う場所に逃げるなど、様々な行動として出ることがあります。

それをわがままとしてではなく、精一杯の自己防衛や不安、混乱として考えることが重要ではないかなと思います。

【関連の特性】

- ・受容コミュニケーション(周囲の状況の理解の特性)
- ・表出コミュニケーション(自分の気持ちが細かく周囲に伝えることが難しい) などなど

※詳細・支援計画は、書籍の中の自閉症特性解説の手引きをご覧ください

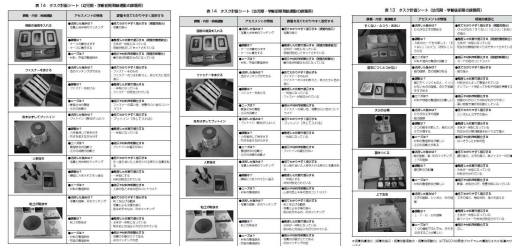
※自閉症特性解説の手引きはパート1『フレームワークを活用した自閉症支援生活デザイン』に掲載されています(114~117頁)。

※また、パート2『生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック』では新しいバージョンが掲載されています(138~145頁)。

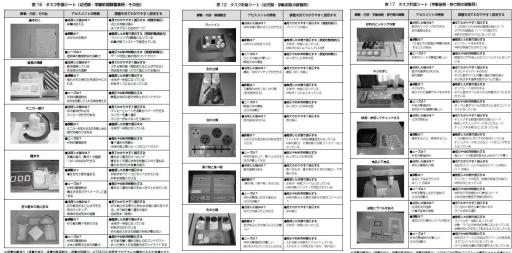
自閉症特性カルタ

監修・文 水野敦之 絵:宗貞由貴子

フレームワークを活用した自閉症支援生活デザインとしての個別支援計画ガイドブック



たくさんの課題の写真
解説を掲載しました



軸の計画、基本の計画・
具体的な計画の3つの個
別支援計画を生活デザイ
ンという視点で紹介しま
す。

今回も『すぐに使えるワーク
シート用CD-ROM付き』です

個別支援計画に関する新
しいシート 多数、基本フ
レームワークシート13種類、
その他7種類



個別支援計画
のガイドブック
各分野で言い
方は違いますが、教育、福祉
など幅広い分
野でも応用で
きるガイドブ
ックです。

前回は方向性を
しますコンパスで
したが、今回は
生活デザインの
イメージのコマで
す。

生活の広がり
書籍の中では、
様々な年代、様々な
生活(支援)内容を幅
広く整理しました。

様々な年代、様々な場
面の課題設定や環境
設定、支援を写真や事
例でイメージできるよう
にしました。